

アジア・リートオープン (毎月決算型)

運用報告書(全体版)

第45期(決算日2018年9月25日) 第46期(決算日2018年10月22日) 第47期(決算日2018年11月22日)
第48期(決算日2018年12月25日) 第49期(決算日2019年1月22日) 第50期(決算日2019年2月22日)

作成対象期間(2018年8月23日～2019年2月22日)

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／不動産投信	
信託期間	2014年9月29日から2024年8月22日までです。	
運用方針	アジアREITマザーファンド(以下「マザーファンド」といいます。)受益証券への投資を通じて、主として日本を除くアジア諸国・地域の金融商品取引所に上場(これに準ずるものを含みます。)されているREIT(不動産投資信託証券)に投資し、高水準の配当収益の確保と中長期的な値上がり益の獲得を目指して運用を行うことを基本とします。	
主な投資対象	アジア・リートオープン (毎月決算型)	マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	マザーファンド	日本を除くアジア諸国・地域の金融商品取引所に上場されているREITを主要投資対象とします。なお、株式等にも投資する場合があります。
主な投資制限	アジア・リートオープン (毎月決算型)	外貨建て資産への実質投資割合には制限を設けません。
	マザーファンド	投資信託証券(上場投資信託証券を除きます。)への投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以内とします。外貨建て資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	毎決算時に、原則として配当等収益等を中心に分配を行うことを基本とします。ただし、基準価額水準等によっては売買益等が中心となる場合があります。なお、市況動向や基準価額水準等によっては、分配金額が大きく変動する場合があります。留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。	

野村アセットマネジメント

東京都中央区日本橋1-12-1



サポートダイヤル 0120-753104
(受付時間) 営業日の午前9時～午後5時

ホームページ <http://www.nomura-am.co.jp/>

○最近30期の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	基準価額		参考指数	投資信託 組入比率	純資産額
		税金 込	期騰落 率			
	円	円	%		%	百万円
21期(2016年9月23日)	10,537	20	0.3	110.06	98.3	8
22期(2016年10月24日)	10,514	20	△0.0	110.08	98.2	8
23期(2016年11月22日)	10,313	20	△1.7	108.81	△1.2	9
24期(2016年12月22日)	10,713	20	4.1	113.49	4.3	9
25期(2017年1月23日)	10,821	20	1.2	115.08	1.4	9
26期(2017年2月22日)	11,013	20	2.0	118.06	2.6	7
27期(2017年3月22日)	10,868	20	△1.1	116.78	△1.1	6
28期(2017年4月24日)	11,141	20	2.7	120.20	2.9	6
29期(2017年5月22日)	11,573	20	4.1	125.61	4.5	7
30期(2017年6月22日)	11,817	20	2.3	129.29	2.9	8
31期(2017年7月24日)	12,180	20	3.2	133.74	3.4	8
32期(2017年8月22日)	11,984	20	△1.4	132.54	△0.9	8
33期(2017年9月22日)	12,386	20	3.5	137.34	3.6	8
34期(2017年10月23日)	12,811	20	3.6	142.53	3.8	8
35期(2017年11月22日)	13,065	20	2.1	145.82	2.3	40
36期(2017年12月22日)	13,460	20	3.2	150.95	3.5	46
37期(2018年1月22日)	13,544	20	0.8	152.10	0.8	75
38期(2018年2月22日)	12,321	20	△8.9	138.68	△8.8	90
39期(2018年3月22日)	12,429	20	1.0	139.91	0.9	93
40期(2018年4月23日)	12,639	20	1.9	142.64	2.0	104
41期(2018年5月22日)	12,740	20	1.0	144.40	1.2	106
42期(2018年6月22日)	12,390	20	△2.6	140.84	△2.5	112
43期(2018年7月23日)	13,073	20	5.7	149.14	5.9	117
44期(2018年8月22日)	13,171	20	0.9	150.51	0.9	117
45期(2018年9月25日)	13,134	20	△0.1	150.50	△0.0	117
46期(2018年10月22日)	12,718	20	△3.0	146.10	△2.9	115
47期(2018年11月22日)	12,802	20	0.8	147.01	0.6	118
48期(2018年12月25日)	12,948	20	1.3	150.02	2.1	113
49期(2019年1月22日)	13,272	20	2.7	153.99	2.6	115
50期(2019年2月22日)	14,380	20	8.5	167.56	8.8	88

* 基準価額の騰落率は分配金込み。

* 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しております。

* 参考指数は「S&PアジアパシフィックREIT指数（除くオーストラリア・ニュージーランド・日本）」の構成国から、S&Pの各国REIT指数と月初における各指数時価総額を用いて、当社が独自に合成し円換算したものです。

算出にあたっては、基準価額への反映を考慮して、前営業日の指数値を営業日当日の為替レート（対顧客電信売買相場仲値）で円換算し、前営業日の時価総額を用いて合成しております。なお、設定時を100としています。

* 「S&PアジアパシフィックREIT指数（除くオーストラリア・ニュージーランド・日本）」及び各国REIT指数はスタンダード&ブアーズファイナンシャル サービスズ エル エル シーの所有する登録商標であり、野村アセットマネジメントに対して利用許諾が与えられています。スタンダード&ブアーズは本商品を推奨・支持・販売・促進等するものではなく、また本商品に対する投資適格性等に関し

いかなる意思表示等を行うものではありません。
(出所)：スタンダード・アンド・ブアーズ、ブルームバーグ

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

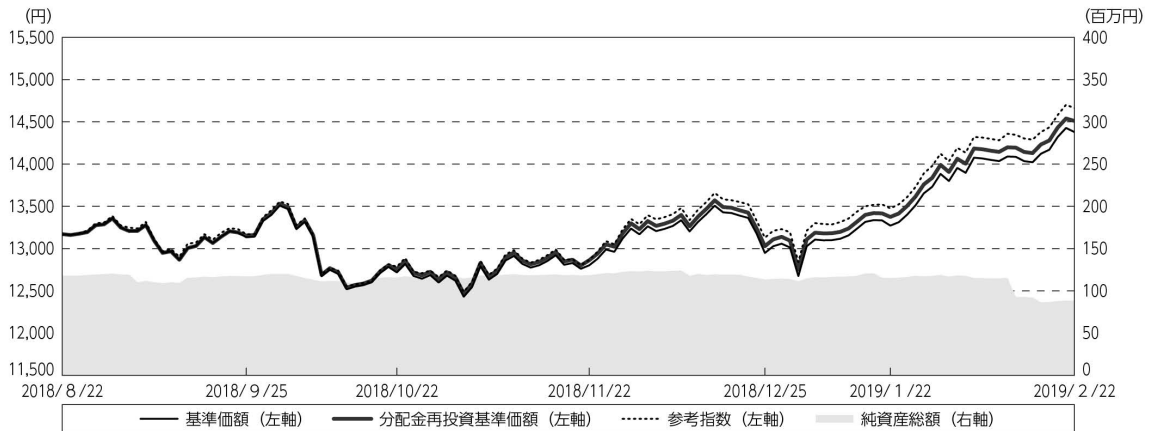
決 算 期	年 月 日	基 準 価 額		参 考 指 数	投 資 信 託 組 入 比 率	信 託 券 率
			騰 落 率			
第45期	(期首) 2018年8月22日	円 13,171	% —	150.51	% —	% 96.8
	8月末	13,249	0.6	151.68	0.8	96.9
	(期末) 2018年9月25日	13,154	△0.1	150.50	△0.0	98.7
第46期	(期首) 2018年9月25日	13,134	—	150.50	—	98.7
	9月末	13,398	2.0	153.73	2.1	98.7
	(期末) 2018年10月22日	12,738	△3.0	146.10	△2.9	98.6
第47期	(期首) 2018年10月22日	12,718	—	146.10	—	98.6
	10月末	12,620	△0.8	144.88	△0.8	98.0
	(期末) 2018年11月22日	12,822	0.8	147.01	0.6	97.7
第48期	(期首) 2018年11月22日	12,802	—	147.01	—	97.7
	11月末	13,237	3.4	152.56	3.8	97.6
	(期末) 2018年12月25日	12,968	1.3	150.02	2.1	98.4
第49期	(期首) 2018年12月25日	12,948	—	150.02	—	98.4
	12月末	13,013	0.5	150.77	0.5	98.4
	(期末) 2019年1月22日	13,292	2.7	153.99	2.6	98.9
第50期	(期首) 2019年1月22日	13,272	—	153.99	—	98.9
	1月末	13,800	4.0	160.35	4.1	100.2
	(期末) 2019年2月22日	14,400	8.5	167.56	8.8	97.8

* 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

* 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しております。

◎運用経過

○作成期間中の基準価額等の推移



第45期首：13,171円

第50期末：14,380円（既払分配金（税込み）：120円）

騰落率：10.2%（分配金再投資ベース）

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。作成期首（2018年8月22日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、個々のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 参考指数は、「S&PアジアパシフィックREIT指数（除くオーストラリア・ニュージーランド・日本）」の構成国から、S&Pの各国REIT指数と月初における各指数時価総額を用いて、当社が独自に合成し円換算したものです。参考指数は、作成期首（2018年8月22日）の値が基準価額と同一となるように計算しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

基準価額は、第45期期首13,171円から第50期期末14,380円（分配後）となりました。この間に120円の分配金をお支払いしましたので、分配金を考慮した値上がり額は1,329円となりました。

(基準価額の主な上昇要因)

- ・パウエルFRB（米連邦準備制度理事会）議長が金融政策の引き締めに対し慎重な姿勢を示し、投資家心理が改善したこと
- ・中国における景気対策への期待感が広がったこと

(基準価額の主な下落要因)

- ・米国の金利が上昇した局面において、新興国からの資金流出に対する警戒感が高まったこと
- ・国内外の株式市場が下落した局面において、リスク回避的な動きがあったこと

○投資環境

当作成期首の香港とシンガポールのREIT市場は、米中貿易問題への警戒感が強まったことや、国内外の金利が上昇基調で推移したことなどを背景に、軟調な動きとなりました。10月に入ると中国景気指標の落ち込みを受けた中国景気減速への懸念や、米国金利上昇による新興国からの資金流出への警戒感、米国株式市場の急落を受けた投資家心理の悪化などを背景に一段と下げ幅を拡大しましたが、11月の中旬以降は米国の長期金利の上昇が一服し資金流出への懸念が後退したことや、貿易問題を巡り米中首脳会談の開催が決定したことなどを受け、値を戻す動きとなりました。その後は中国通信機器大手企業の幹部が米国の要請を受けたカナダ当局に逮捕されたことで貿易戦争への懸念が再燃した局面や、12月末にかけて国内外の株式市場が不安定な動きとなり投資家心理が悪化した局面では弱含む動きも見られましたが、年明けはパウエルFRB議長が金融政策の引き締めに対し慎重な姿勢を示したことや、米中が次官級の貿易協議を開いたことで貿易交渉の進展への期待感が広がったこと、中国における景気対策への期待などを背景に堅調に推移しました。当作成期を通じては、香港とシンガポールのREIT市場はいずれも上昇しました。

○当ファンドのポートフォリオ

[アジア・リートオープン（毎月決算型）]

主要投資対象である [アジアREITマザーファンド] 受益証券を高位に組み入れ、第50期期末におけるREITの実質組入比率は97.8%としました。

[アジアREITマザーファンド]

収益の安定性と成長性に着目し、データセンターに投資する「ケッペルDC・リート」を市場の時価総額比率よりも多めに組み入れました。また、シンガポールの商業施設の収益性に着目し、「キャピタランド モール・トラスト」や「メイプルツリー コマーシャル・トラスト」なども市場の時価総額比率よりも多めに組み入れました。

○当ファンドのベンチマークとの差異

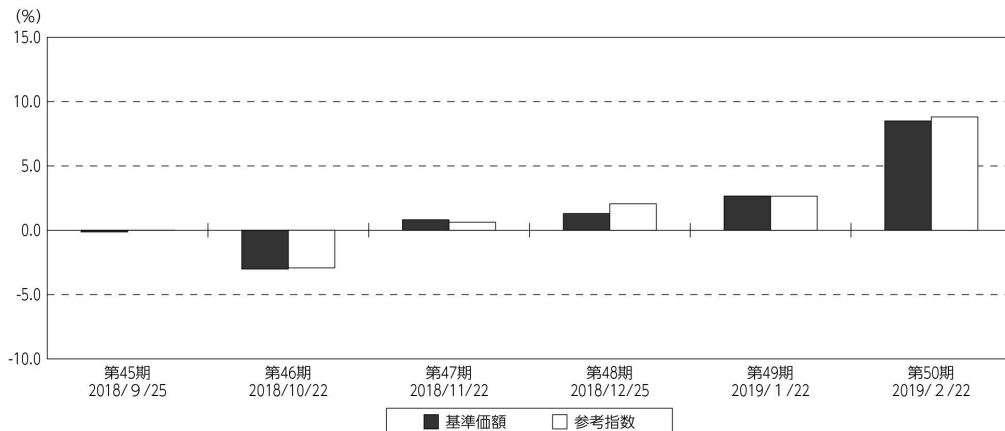
当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。
コメント・グラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

参考指数の11.3%の上昇に対し、基準価額の騰落率※は10.2%の上昇となりました。
※基準価額の騰落率は、分配金（税込み）を再投資して算出しております。

（主なマイナス要因）

- ・ ファンドでは信託報酬等のコストが日々生じること
- ・ 個別銘柄比率においてフレーザーズ センターポイント・トラストを市場の時価総額比率よりも多めに組み入れたこと

基準価額と参考指数の対比（期別騰落率）



(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注) 参考指数は、「S&PアジアパシフィックREIT指数（除くオーストラリア・ニュージーランド・日本）」の構成国から、S&Pの各国REIT指数と月初における各指数時価総額を用いて、当社が独自に合成し円換算したものです。

◎分配金

収益分配金につきましては、配当等収益等を中心に、基準価額水準等を勘案し、1万口当たり第45期～第50期は各20円といたしました。なお、留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行ないます。

○分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり・税込み）

項 目	第45期	第46期	第47期	第48期	第49期	第50期
	2018年8月23日～ 2018年9月25日	2018年9月26日～ 2018年10月22日	2018年10月23日～ 2018年11月22日	2018年11月23日～ 2018年12月25日	2018年12月26日～ 2019年1月22日	2019年1月23日～ 2019年2月22日
当期分配金	20	20	20	20	20	20
（対基準価額比率）	0.152%	0.157%	0.156%	0.154%	0.150%	0.139%
当期の収益	17	—	20	20	0	20
当期の収益以外	2	20	—	—	19	—
翌期繰越分配対象額	3,296	3,278	3,315	3,357	3,338	4,380

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

◎今後の運用方針

〔アジア・リートオープン（毎月決算型）〕

主要投資対象である〔アジアREITマザーファンド〕受益証券を高位に組み入れ、基準価額の向上に努めます。

〔アジアREITマザーファンド〕

当ファンドでは、日本を除くアジア諸国・地域の金融商品取引所に上場（これに準ずるものを含みます。）されているREITを主要投資対象とします。REITへの投資にあたっては、各銘柄ごとの利回り水準、市況動向、流動性等を勘案しながら、収益性・成長性等の調査や割安分析等により投資銘柄を選別し、高水準の配当収益の確保と中長期的な値上がり益の獲得を目指して運用を行なうことを基本とします。

（運用戦略）

米中貿易摩擦の激化などが世界経済の減速に繋がることへの懸念はありますが、香港、シンガポール共にアジアの経済拠点としての優位性を確立しており、不動産市況は底堅く推移することが期待されます。当面は、配当成長が見込まれる銘柄に着目しつつ、保有不動産の賃料水準や立地、新規の物件取得状況などを考慮し、銘柄選択を行なう予定です。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくお願いいたします。

○ 1 万口当たりの費用明細

（2018年8月23日～2019年2月22日）

項 目	第45期～第50期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 112	% 0.844	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(54)	(0.408)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等
（ 販 売 会 社 ）	(54)	(0.408)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等
（ 受 託 会 社 ）	(4)	(0.027)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等
(b) 売 買 委 託 手 数 料	0	0.004	(b) 売買委託手数料＝作成期間の売買委託手数料÷作成期間の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（ 投 資 信 託 証 券 ）	(0)	(0.004)	
(c) 有 価 証 券 取 引 税	1	0.005	(c) 有価証券取引税＝作成期間の有価証券取引税÷作成期間の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（ 投 資 信 託 証 券 ）	(1)	(0.005)	
(d) そ の 他 費 用	5	0.035	(d) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(4)	(0.033)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	(0)	(0.002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	118	0.888	
作成期間の平均基準価額は、13,219円です。			

* 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

* 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

* 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

* 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2018年8月23日～2019年2月22日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	第45期～第50期			
	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
アジアREITマザーファンド	千口 9,262	千円 27,670	千口 21,994	千円 69,299

*単位未満は切り捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2018年8月23日～2019年2月22日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○自社による当ファンドの設定、解約状況

(2018年8月23日～2019年2月22日)

第45期首残高 (元本)	設定元本	解約元本	第50期末残高 (元本)	取引の理由
百万円 1	百万円 —	百万円 —	百万円 1	当初設定時における取得

○組入資産の明細

(2019年2月22日現在)

親投資信託残高

銘柄	第44期末	第50期末	
	口数	口数	評価額
アジアREITマザーファンド	千口 39,088	千口 26,356	千円 88,263

*口数・評価額の単位未満は切り捨て。

親投資信託における組入資産の明細につきましては、後述の親投資信託の「運用報告書」をご参照ください。

○投資信託財産の構成

（2019年2月22日現在）

項 目	第50期末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
アジアREITマザーファンド	88,263	99.3
コール・ローン等、その他	595	0.7
投資信託財産総額	88,858	100.0

*金額の単位未満は切り捨て。

*アジアREITマザーファンドにおいて、第50期末における外貨建て純資産（381,790千円）の投資信託財産総額（382,099千円）に対する比率は99.9%です。

*外貨建て資産は、第50期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=110.78円、1香港ドル=14.12円、1シンガポールドル=81.85円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第45期末	第46期末	第47期末	第48期末	第49期末	第50期末
	2018年9月25日現在	2018年10月22日現在	2018年11月22日現在	2018年12月25日現在	2019年1月22日現在	2019年2月22日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	117,489,403	116,138,097	118,960,081	115,873,707	120,638,915	88,858,489
コール・ローン等	158,674	514,376	105,438	210,153	170,407	504,610
アジアREITマザーファンド(評価額)	116,930,729	115,623,721	118,507,643	113,263,554	114,978,508	88,263,879
未収入金	400,000	—	347,000	2,400,000	5,490,000	90,000
(B) 負債	409,978	371,255	352,822	2,494,940	5,514,932	470,075
未払収益分配金	178,280	182,053	185,297	175,132	173,481	122,931
未払解約金	50,417	46,771	—	2,137,463	5,192,595	192,015
未払信託報酬	180,943	142,165	167,213	182,007	148,574	154,839
未払利息	—	1	—	—	—	—
その他未払費用	338	265	312	338	282	290
(C) 純資産総額(A-B)	117,079,425	115,766,842	118,607,259	113,378,767	115,123,983	88,388,414
元本	89,140,397	91,026,928	92,648,817	87,566,021	86,740,952	61,465,820
次期繰越損益金	27,939,028	24,739,914	25,958,442	25,812,746	28,383,031	26,922,594
(D) 受益権総口数	89,140,397口	91,026,928口	92,648,817口	87,566,021口	86,740,952口	61,465,820口
1万口当たり基準価額(C/D)	13,134円	12,718円	12,802円	12,948円	13,272円	14,380円

(注) 第45期首元本額は89,542,524円、第45～50期中追加設定元本額は24,449,744円、第45～50期中一部解約元本額は52,526,448円、1口当たり純資産額は、第45期1.3134円、第46期1.2718円、第47期1.2802円、第48期1.2948円、第49期1.3272円、第50期1.4380円です。

○損益の状況

項 目	第45期	第46期	第47期	第48期	第49期	第50期
	2018年8月23日～ 2018年9月25日	2018年9月26日～ 2018年10月22日	2018年10月23日～ 2018年11月22日	2018年11月23日～ 2018年12月25日	2018年12月26日～ 2019年1月22日	2019年1月23日～ 2019年2月22日
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	△ 45	△ 15	—	△ 33	△ 4	△ 99
支払利息	△ 45	△ 15	—	△ 33	△ 4	△ 99
(B) 有価証券売買損益	134,574	△ 3,215,226	1,136,883	1,534,036	3,071,864	6,894,246
売買益	161,007	150,316	1,141,842	1,918,122	3,217,398	8,730,691
売買損	△ 26,433	△ 3,365,542	△ 4,959	△ 384,086	△ 145,534	△ 1,836,445
(C) 信託報酬等	△ 181,281	△ 142,430	△ 167,525	△ 182,345	△ 148,856	△ 155,129
(D) 当期繰越損益 (A+B+C)	△ 46,752	△ 3,357,671	969,358	1,351,658	2,923,004	6,739,018
(E) 前期繰越損益	1,066,368	809,829	△ 2,720,559	△ 1,768,081	△ 556,282	1,525,882
(F) 追加信託差損益	27,097,692	27,469,809	27,894,940	26,404,301	26,189,790	18,780,625
(配当等相当額)	(25,797,527)	(26,644,474)	(27,187,175)	(25,792,821)	(25,684,104)	(18,293,105)
(売買損益相当額)	(1,300,165)	(825,335)	(707,765)	(611,480)	(505,686)	(487,520)
(G) 計 (D+E+F)	28,117,308	24,921,967	26,143,739	25,987,878	28,556,512	27,045,525
(H) 収益分配金	△ 178,280	△ 182,053	△ 185,297	△ 175,132	△ 173,481	△ 122,931
次期繰越損益 (G+H)	27,939,028	24,739,914	25,958,442	25,812,746	28,383,031	26,922,594
追加信託差損益	27,097,692	27,469,809	27,894,940	26,404,301	26,189,790	18,780,625
(配当等相当額)	(25,820,085)	(26,645,553)	(27,193,085)	(25,797,307)	(25,684,131)	(18,312,869)
(売買損益相当額)	(1,277,607)	(824,256)	(701,855)	(606,994)	(505,659)	(467,756)
分配準備積立金	3,561,912	3,194,471	3,521,440	3,605,193	3,276,989	8,141,969
繰越損益	△ 2,720,576	△ 5,924,366	△ 5,457,938	△ 4,196,748	△ 1,083,748	—

* 損益の状況の中で (B) 有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

* 損益の状況の中で (C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

* 損益の状況の中で (F) 追加信託差損益とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 分配金の計算過程 (2018年8月23日～2019年2月22日) は以下の通りです。

項 目	第45期	第46期	第47期	第48期	第49期	第50期
	2018年8月23日～ 2018年9月25日	2018年9月26日～ 2018年10月22日	2018年10月23日～ 2018年11月22日	2018年11月23日～ 2018年12月25日	2018年12月26日～ 2019年1月22日	2019年1月23日～ 2019年2月22日
a. 配当等収益 (経費控除後)	158,396円	0円	521,367円	531,604円	709円	745,138円
b. 有価証券売買等損益 (経費控除後・繰越欠損金繰戻後)	0円	0円	0円	0円	0円	5,256,496円
c. 信託約款に定める収益調整金	25,820,085円	26,645,553円	27,193,085円	25,797,307円	25,684,131円	18,780,625円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	3,581,796円	3,376,524円	3,185,370円	3,248,721円	3,449,761円	2,263,266円
e. 分配対象収益 (a+b+c+d)	29,560,277円	30,022,077円	30,899,822円	29,577,632円	29,134,601円	27,045,525円
f. 分配対象収益 (1万口当たり)	3,316円	3,298円	3,335円	3,377円	3,358円	4,400円
g. 分配金	178,280円	182,053円	185,297円	175,132円	173,481円	122,931円
h. 分配金 (1万口当たり)	20円	20円	20円	20円	20円	20円

○分配金のお知らせ

	第45期	第46期	第47期	第48期	第49期	第50期
1 万口当たり分配金（税込み）	20円	20円	20円	20円	20円	20円

※分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合、分配金は全額普通分配金となります。

※分配前の基準価額が個別元本を上回り、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合、分配金は個別元本を上回る部分が普通分配金、下回る部分が元本払戻金（特別分配金）となります。

※分配前の基準価額が個別元本と同額または下回る場合、分配金は全額元本払戻金（特別分配金）となります。

○お知らせ

該当事項はございません。

アジアREITマザーファンド

運用報告書

第8期（決算日2019年2月22日）

作成対象期間（2018年2月23日～2019年2月22日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	高水準の配当収益の確保と中長期的な値上がり益の獲得を目指して運用を行うことを基本とします。REIT（不動産投資信託証券）への投資にあたっては、各銘柄ごとの利回り水準、市況動向、流動性等を勘案しながら、収益性・成長性等の調査や割安分析等により投資銘柄を選別します。REITの組入比率は原則として高位を維持することを基本とします。外貨建て資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
主な投資対象	日本を除くアジア諸国・地域の金融商品取引所に上場（これに準ずるものを含みます。）されているREITを主要投資対象とします。なお、株式等にも投資する場合があります。
主な投資制限	投資信託証券（上場投資信託証券を除きます。）への投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以内とします。外貨建て資産への投資割合には制限を設けません。

野村アセットマネジメント

東京都中央区日本橋1-12-1

<http://www.nomura-am.co.jp/>

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額		参 考 指 数	投 資 信 託 組 入 比	純 資 産 額
	期 騰 落	中 率			
	円	%		%	百万円
4期(2015年2月23日)	23,527	44.6	230.02	40.8	280
5期(2016年2月22日)	20,411	△13.2	198.57	△13.7	288
6期(2017年2月22日)	23,897	17.1	232.54	17.1	315
7期(2018年2月22日)	27,721	16.0	273.15	17.5	341
8期(2019年2月22日)	33,488	20.8	330.02	20.8	382

*参考指数は「S&PアジアパシフィックREIT指数(除くオーストラリア・ニュージーランド・日本)」の構成国から、S&Pの各国REIT指数と月初における各指数時価総額を用いて、当社が独自に合成し円換算したものです。

算出にあたっては、基準価額への反映を考慮して、前営業日の指数値を営業日当日の為替レート(対顧客電信売買相場仲値)で円換算し、前営業日の時価総額を用いて合成しております。なお、設定時を100としています。

*「S&PアジアパシフィックREIT指数(除くオーストラリア・ニュージーランド・日本)」及び各国REIT指数はスタンダード&プアーズファイナンシャル サービスーズ エル エル シーの所有する登録商標であり、野村アセットマネジメントに対して利用許諾が与えられています。スタンダード&プアーズは本商品を推奨・支持・販売・促進等するものではなく、また本商品に対する投資適格性等に関し
いかなる意思表示等を行うものではありません。

(出所) : スタンダード・アンド・プアーズ、ブルームバーグ

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基準価額		参 考 指 数	投 資 信 託 組 入 比
	騰 落	率		
(期 首) 2018年2月22日	円	%		%
	27,721	—	273.15	98.8
2月末	28,077	1.3	276.06	98.5
3月末	27,994	1.0	274.76	98.5
4月末	28,525	2.9	280.08	95.2
5月末	28,376	2.4	278.99	96.5
6月末	28,469	2.7	279.89	96.1
7月末	30,373	9.6	298.45	96.4
8月末	30,342	9.5	298.75	96.9
9月末	30,787	11.1	302.79	98.7
10月末	29,068	4.9	285.36	98.0
11月末	30,580	10.3	300.48	97.6
12月末	30,158	8.8	296.95	98.5
2019年1月末	32,082	15.7	315.82	99.0
(期 末) 2019年2月22日	円	%		%
	33,488	20.8	330.02	97.9

*騰落率は期首比です。

◎運用経過

○期中の基準価額等の推移



(注) 参考指数は、「S&PアジアパシフィックREIT指数 (除くオーストラリア・ニュージーランド・日本)」の構成国から、S&Pの各国REIT指数と月初における各指数時価総額を用いて、当社が独自に合成し円換算したものです。作成期首の値が基準価額と同一となるように計算しております。

○基準価額の主な変動要因

基準価額は、期首27,721円から期末33,488円に5,767円の値上がりとなりました。

(基準価額の主な上昇要因)

- ・北朝鮮をめぐる地政学的リスクに対する警戒感が後退したこと
- ・パウエルFRB(米連邦準備制度理事会)議長が金融政策の引き締めに対し慎重な姿勢を示し、投資家心理が改善したこと

(基準価額の主な下落要因)

- ・米国の金利が上昇した局面において、新興国からの資金流出に対する警戒感が高まったこと
- ・国内外の株式市場が下落した局面において、リスク回避的な動きがあったこと

○投資環境

当作成期前半の香港とシンガポールのREIT市場は、米朝首脳会談や南北首脳会談の実施への期待感から北朝鮮をめぐる地政学的リスクへの警戒感が後退したことなどを受け上昇する動きも見られましたが、米国の長期金利上昇を背景とした資金流出への懸念や、イタリアやスペインにおける政治的混乱などが下押し要因となり、上値の重い展開が続きました。米中貿易摩擦への警戒感が投資家心理の重石となる中、シンガポールREIT市場ではマイナスに転じる場面も見られましたが、相対的に貿易問題の影響を受けにくい市場との見方が広がったことなどが下支えとなりました。香港のREIT市場では大手REITの決算内容が評価され、大きく上昇したことが相場の上昇に寄与しました。

当作成期後半は、米中貿易問題への警戒感が強まったことや、国内外の金利が上昇基調で推移したことなどを背景に、軟調な動きではじまりました。10月に入ると中国景気指標の落ち込みを受けた中国景気減速への懸念や、米国金利上昇による新興国からの資金流出への警戒感、米国株式市場の急落を受けた投資家心理の悪化などを背景に一段と下落しましたが、11月の中旬以降は米国の長期金利の上昇が一服し資金流出への懸念が後退したことや、貿易問題を巡り米中首脳会談の開催が決定したことなどを受け、値を戻す動きとなりました。その後は中国通信機器大手企業の幹部が米国の要請を受けたカナダ当局に逮捕されたことで貿易戦争への懸念が再燃した局面や、12月末にかけて国内外の株式市場が不安定な動きとなり投資家心理が悪化した局面では弱含む動きも見られましたが、年明けはパウエルFRB議長が金融政策の引き締めに対し慎重な姿勢を示したことや、米中が次官級の貿易協議を開いたことで貿易交渉の進展への期待感が広がったこと、中国における景気対策への期待などを背景に堅調に推移しました。当作成期を通じては、香港とシンガポールのREIT市場はいずれも上昇しました。

○当ファンドのポートフォリオ

<REIT組入比率>

REITの組入比率は、原則として高位を維持し、期末には97.9%としました。

<主な銘柄>

収益の安定性と成長性に着目し、データセンターに投資する「ケッペルDC・リート」を市場の時価総額比率よりも多めに組み入れました。また、シンガポールの商業施設の収益性に着目し、「キャピタランド モール・トラスト」や「メイプルツリー コマーシャル・トラスト」なども市場の時価総額比率よりも多めに組み入れました。

○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。

コメント・グラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

<参考指数との対比>

参考指数の20.8%の上昇に対し、基準価額の騰落率は20.8%の上昇となりました。

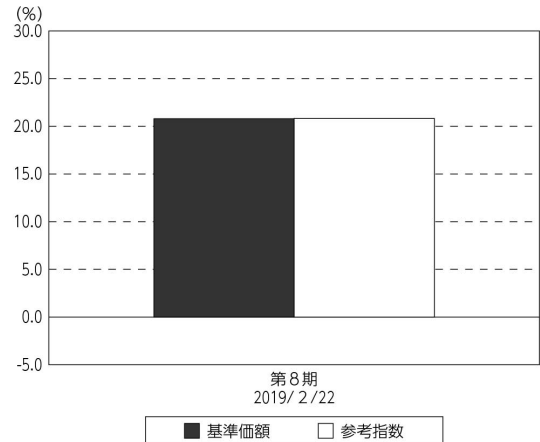
(主なプラス要因)

- ・個別銘柄比率においてキャピタランドモール・トラストを市場の時価総額比率よりも多めに組み入れたこと

(主なマイナス要因)

- ・個別銘柄比率においてCDL ホスピタリティ・トラストを市場の時価総額比率よりも多めに組み入れたこと

基準価額と参考指数の対比（期別騰落率）



(注) 参考指数は、「S&PアジアパシフィックREIT指数（除くオーストラリア・ニュージーランド・日本）」の構成国から、S&Pの各国REIT指数と月初における各指数時価総額を用いて、当社が独自に合成し円換算したものです。

◎今後の運用方針

当ファンドでは、日本を除くアジア諸国・地域の金融商品取引所に上場（これに準ずるものを含みます。）されているREITを主要投資対象とします。REITへの投資にあたっては、各銘柄ごとの利回り水準、市況動向、流動性等を勘案しながら、収益性・成長性等の調査や割安分析等により投資銘柄を選別し、高水準の配当収益の確保と中長期的な値上がり益の獲得を目指して運用を行なうことを基本とします。

(運用戦略)

米中貿易摩擦の激化などが世界経済の減速に繋がることへの懸念はありますが、香港、シンガポール共にアジアの経済拠点としての優位性を確立しており、不動産市況は底堅く推移することが期待されます。当面は、配当成長が見込まれる銘柄に着目しつつ、保有不動産の賃料水準や立地、新規の物件取得状況などを考慮し、銘柄選択を行なう予定です。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくお願いいたします。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2018年2月23日～2019年2月22日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (投 資 信 託 証 券)	円 5 (5)	% 0.017 (0.017)	(a) 売買委託手数料=期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) 有 価 証 券 取 引 税 (投 資 信 託 証 券)	4 (4)	0.012 (0.012)	(b) 有価証券取引税=期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (そ の 他)	23 (22) (1)	0.077 (0.074) (0.003)	(c) その他費用=期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 信託事務の処理に要するその他の諸費用
合 計	32	0.106	
期中の平均基準価額は、29,569円です。			

*各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

*各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2018年2月23日～2019年2月22日)

投資信託証券

銘	柄	買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
アメリカ		口	千米ドル	口	千米ドル
	MANULIFE US REAL ESTATE INVESTMENT TRUST	53,700 (-)	45 (△ 1)	-	-
	小 計	53,700 (-)	45 (△ 1)	-	-
香港			千香港ドル		千香港ドル
	LINK REIT	-	-	16,500	1,347
	小 計	-	-	16,500	1,347
シンガポール			千シンガポールドル		千シンガポールドル
	CAPITALAND MALL TRUST	17,000	35	-	-
	ASCENDAS REAL ESTATE INV TRT	- (-)	- (△ 1)	-	-
	SUNTEC REIT	- (-)	- (△ 1)	-	-
	MAPLETREE LOGISTICS TRUST	- (-)	- (△0.25716)	-	-
	STARHILL GLOBAL REIT	- (-)	- (△ 0.14)	-	-
	ASCOTT RESIDENCE TRUST	- (-)	- (△0.80247)	-	-
	FRASERS COMMERCIAL TRUST	- (-)	- (△0.71107)	-	-
	KEPPEL REIT	- (-)	- (△0.03302)	-	-
	CDL HOSPITALITY TRUSTS	27,000 (-)	44 (△ 0.8964)	29,500	46
	CAPITALAND RETAIL CHINA TRUST	22,000 (-)	34 (△0.32946)	-	-
	FIRST REAL ESTATE INVT TRUST	-	-	80,272	109
	PARKWAY LIFE REAL ESTATE	13,000 (-)	36 (△ 0.864)	-	-
	LIPPO MALLS INDONESIA RETAIL TRUST	-	-	170,000	61
	MAPLETREE INDUSTRIAL TRUST	- (-)	- (△0.22682)	-	-
	MAPLETREE COMMERCIAL TRUST	-	-	58,000	91
	FAR EAST HOSPITALITY TRUST	89,000	60	-	-
	SPH REIT	-	-	40,000	39
	OUÉ HOSPITALITY TRUST	149,000	113	-	-
	FRASERS LOGISTICS & INDUSTRI	- (5,500)	- (4)	-	-

銘柄		買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
外国	シンガポール	口	千シンガポールドル	口	千シンガポールドル
	FRASERS LOGISTICS & INDUSTRI - RTS	—	—	—	—
		(5,500)	(5)	(5,500)	(0.47361)
	小計	317,000	324	377,772	348
		(11,000)	(2)	(5,500)	(0.47361)

*金額は受け渡し代金。

*金額の単位未満は切り捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

* ()内は分割、合併、有償増資などによる増減分で、上段の数字には含まれておりません。

*銘柄コード等の変更があった銘柄は、別銘柄として掲載しております。

○利害関係人との取引状況等

(2018年2月23日～2019年2月22日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

(2019年2月22日現在)

○組入資産の明細

外国投資信託証券

銘柄	期首(前期末)		当 期 末		
	口 数	口 数	評 価 額		比 率
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)	口	口	千米ドル	千円	%
MANULIFE US REAL ESTATE INVESTMENT TRUST	—	53,700	45	4,997	1.3
小 計	口 数 ・ 金 額	—	53,700	45	4,997
	銘柄 数 < 比 率 >	—	1	—	<1.3%>
(香港)			千香港ドル		
LINK REIT	104,560	88,060	7,890	111,409	29.2
CHAMPION REIT	132,000	132,000	805	11,369	3.0
SUNLIGHT REAL ESTATE INVESTMENT	47,000	47,000	271	3,835	1.0
REGAL REAL ESTATE INVESTMENT	3,000	3,000	7	101	0.0
FORTUNE REIT	98,000	98,000	959	13,547	3.5
小 計	口 数 ・ 金 額	384,560	368,060	9,933	140,262
	銘柄 数 < 比 率 >	5	5	—	<36.7%>
(シンガポール)			千シンガポールドル		
CAPITALAND MALL TRUST	140,000	157,000	383	31,355	8.2
ASCENDAS REAL ESTATE INV TRT	146,625	146,625	407	33,363	8.7
CAPITALAND COMMERCIAL TRUST	108,438	108,438	206	16,863	4.4
SUNTEC REIT	107,000	107,000	204	16,727	4.4
MAPLETREE LOGISTICS TRUST	51,436	51,436	70	5,809	1.5
STARHILL GLOBAL REIT	56,000	56,000	39	3,208	0.8
ASCOTT RESIDENCE TRUST	46,440	46,440	53	4,371	1.1
FRASERS COMMERCIAL TRUST	29,725	29,725	43	3,600	0.9
KEPPEL REIT	36,699	36,699	45	3,694	1.0
FRASERS CENTREPOINT TRUST	74,000	74,000	170	13,991	3.7
CDL HOSPITALITY TRUSTS	56,000	53,500	85	7,006	1.8
CAPITALAND RETAIL CHINA TRUST	31,141	53,141	77	6,306	1.7
FIRST REAL ESTATE INVT TRUST	80,272	—	—	—	—
PARKWAY LIFE REAL ESTATE	27,000	40,000	112	9,232	2.4
LIPPO MALLS INDONESIA RETAIL TRUST	170,000	—	—	—	—
MAPLETREE INDUSTRIAL TRUST	66,715	66,715	132	10,866	2.8
MAPLETREE COMMERCIAL TRUST	203,267	145,267	255	20,926	5.5
FAR EAST HOSPITALITY TRUST	61,000	150,000	96	7,918	2.1
SPH REIT	40,000	—	—	—	—
OUÉ HOSPITALITY TRUST	—	149,000	106	8,719	2.3
KEPPEL DC REIT	161,030	161,030	236	19,375	5.1
FRASERS LOGISTICS & INDUSTRI	55,000	60,500	65	5,348	1.4
小 計	口 数 ・ 金 額	1,747,788	1,692,516	2,793	228,687
	銘柄 数 < 比 率 >	21	19	—	<59.9%>
合 計	口 数 ・ 金 額	2,132,348	2,114,276	—	373,947
	銘柄 数 < 比 率 >	26	25	—	<97.9%>

* 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

* 比率は、純資産総額に対する評価額の比率。

* 金額の単位未満は切り捨て。

* 銘柄コード等の変更があった銘柄は、別銘柄として掲載しております。

<純資産総額の10%を超える不動産投資信託に関する組入投資信託証券の内容>

リンク・リート (Link Real Estate Investment Trust) : 期末組入比率 29.2%

イ. 不動産投資信託の目的及び基本的性格

本ファンドの受益証券は香港証券取引所に上場しています。ビジョン、ミッションとして世界を代表するREITとなること、地域社会に参加すること、生活を改善すること、持続性のある成長を生み出すこと等を掲げています。

ロ. 不動産投資信託の特徴

香港および中国本土のショッピングセンター等を所有、運営しています。

ハ. 1口当たり資産運用報酬額等

「リンク・リート」は、投資信託の運用報酬に相当する詳細な開示がございませんので、「1口当たり資産運用報酬等の額」は開示することができません。なお、「リンク・リート」の開示情報資料についてはホームページにおいて閲覧することが可能です。

ホームページアドレス <https://www.linkreit.com/>

(2019年2月22日現在)

○投資信託財産の構成

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
投資証券	千円 373,947	% 97.9
コール・ローン等、その他	8,152	2.1
投資信託財産総額	382,099	100.0

*金額の単位未満は切り捨て。

*当期末における外貨建て純資産（381,790千円）の投資信託財産総額（382,099千円）に対する比率は99.9%です。

*外貨建て資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=110.78円、1香港ドル=14.12円、1シンガポールドル=81.85円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2019年2月22日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	382,099,157
コール・ローン等	725,017
投資証券(評価額)	373,947,655
未収入金	4,039,251
未収配当金	3,387,234
(B) 負債	90,000
未払解約金	90,000
(C) 純資産総額(A-B)	382,009,157
元本	114,073,323
次期繰越損益金	267,935,834
(D) 受益権総口数	114,073,323口
1万口当たり基準価額(C/D)	33,488円

(注) 期首元本額は123,014,242円、期中追加設定元本額は29,677,486円、期中一部解約元本額は38,618,405円、1口当たり純資産額は3,3488円です。

(注) 当マザーファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本額
・野村アジアREITファンド(毎月分配型) 87,716,455円
・アジア・リートオープン(毎月決算型) 26,356,868円

○損益の状況 (2018年2月23日～2019年2月22日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	16,156,837
受取配当金	16,132,798
受取利息	25,591
支払利息	△ 1,552
(B) 有価証券売買損益	53,631,318
売買益	56,690,596
売買損	△ 3,059,278
(C) 保管費用等	△ 276,897
(D) 当期損益金(A+B+C)	69,511,258
(E) 前期繰越損益金	217,989,117
(F) 追加信託差損益金	60,140,754
(G) 解約差損益金	△ 79,705,295
(H) 計(D+E+F+G)	267,935,834
次期繰越損益金(H)	267,935,834

*損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

*損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

*損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

○お知らせ

該当事項はございません。

<お申し込み時の留意点>

販売会社の営業日であってもお申し込みの受付ができない日（以下「申込不可日」といいます。）があります。

お申し込みの際には、これらの申込不可日に該当する日をご確認のうえ、お申し込みいただきますようよろしくお願いいたします。

(2019年2月22日現在)

年 月	日
2019年2月	－
3月	－
4月	4、5、18、19、22
5月	10、13、17、20
6月	4、5、6、7、28
7月	1
8月	8、9
9月	30
10月	1、4、7、25、28
11月	－
12月	24、25、26

※2019年12月までに該当する「申込不可日」を現時点で認識しうる情報をもとに作成しておりますが、諸事情等により突然変更される場合があります。

したがって、お申し込みにあたってはその点についても十分ご留意下さい。また、諸事情等による申込不可日の変更は、販売会社に連絡いたしますので、お問い合わせ下さい。

なお、弊社ホームページ (<http://www.nomura-am.co.jp/>) にも掲載いたしております。